

世界一のゲームセンター クールジャパン『インバウンド』対策 50カ国語以上対応 先進のIoT通訳機 POCKETALK(ポケトーク)導入しました!!

円滑な双方向コミュニケーションで、今まで難しかった
外国人顧客にもクレーンゲーム獲り方アドバイスが可能に!!

株式会社東洋(埼玉県北本市/代表取締役 中村秀夫)が経営する、1店舗当たりのクレーンゲーム設置台数が240台で2012年3月3日にギネス世界記録に認定されている「世界一のゲームセンター エブリディ行田店(埼玉県行田市)」は、**2018年3月15日(木)**から、**日本政府の推進するクールジャパン戦略の『インバウンド』対策の一環**として、外国人顧客との接客時コミュニケーションをより快適に、安心して楽しんで頂くためのツールとして、ソースネクスト株式会社より発売されている**通訳機「POCKETALK(ポケトーク)」を導入致しました。**



ここ数年、韓国や中国などのアジア圏でのクレーンゲーム熱に後押しされる形で、日本のアニメ文化と融合し、日本で独自に発展したクレーンゲーム文化を楽しむ為、アジア圏のみならず、クレーンゲームの設置台数でギネス世界記録を持つエブリディ行田店にご来店頂く外国人が増加しております。

ソースネクスト株式会社より発売されている通訳機「POCKETALK(ポケトーク)」は、**50以上の言語**の中から任意の2言語を選んで、**話しかけるだけで、そこまるで本物の通訳がいるかのように双方向コミュニケーションが取れる**、手のひらサイズの先進のIoT通訳機です。

ツールを導入し言葉が通じることで、エブリディに在籍する**クレーンゲーム獲り方アドバイザー**の『獲り方アドバイス』で、日本に海外旅行に来た訪日客も、より日本滞在を楽しんで頂けたり、**日本の『おもてなし』を満喫して頂ける**と考えます。

エブリディでは、今後、更なるインバウンド対策として、**訪日外国人旅行客向けの無料公衆無線LAN(JAPAN Free Wi-Fi)**の環境整備などを進めていきます。